

## 障がい児支援体制部会の進捗状況について

## 1 委員（50音順、敬称略）

氏名	所属団体等
上田 マリ子	日本発達障害ネットワーク北海道 会長
加藤 法子	社会福祉法人榆の会 総合施設長
菊池 洋子	札幌市手をつなぐ育成会 副会長
北川 聡子（○）	社会福祉法人麦の子会 総合施設長 （札幌市自立支援協議会 子ども部会長）
才野 均	北海道立子ども総合医療・療育センター 総合発達支援センター長
藤原 里佐（◎）	北星学園大学短期大学部 教授
古川 孝士	札幌地区児童発達支援連絡協議会
山田 幸広	社会福祉法人北翔会 相談室あゆみ （札幌市自立支援協議会 相談支援部会）
渡辺 あや子	札幌肢体不自由児者父母の会 会長

◎ 部会長 ○副部会長

## 2 検討経過

開催時期	検討テーマ
平成 29 年 7 月 11 日	① 児童発達支援センターの支援体制の在り方
平成 29 年 8 月 22 日	
平成 29 年 9 月 19 日	② 市有療育施設の在り方
平成 29 年 11 月 6 日（予定）	③ 医療的ケア児の支援体制の在り方

## 3 主な御意見

- 児童発達支援センターについて、もっと地域の中核とならなければいけない。将来的に各区に 1 施設ずつ、バランスの良い配置が必要である。
- 将来的に、子ども発達支援総合センター（ちくたく）のような入所機能を含めた専門的な機関がもう一か所あるとよい。
- 医療的ケア児について、障がい児施策の対象になるかどうかを問わず、「日常生活を営む上で医療的ケアが必要な子ども」と広く捉え、議論を進めていく必要がある。